



第 2630 地区

写真 修道院



第 47 期会長テーマ  
みんなでつくる奉仕の心

例会日 毎週木曜日  
事務局 多治見市新町 1-23  
産業文化センター 4F  
TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101  
E-mail n-rc@joy.ocn.ne.jp  
HP <http://tajiminishi.jimdo.com/>  
会長 各務和宏 幹事 山田正史

## 第 2255 例会 2012 年 10 月 18 日 (木)

### 10 月は職業奉仕月間・米山月間

#### 本日のプログラム

点 鐘  
ロータリーソング それこそロータリー  
四つのテスト  
会長挨拶  
出席・スマイル報告  
委員会報告  
幹事報告  
卓話者紹介 R 財団委員長  
谷口津富君  
卓 話 地区 R 財団補助金小委員会副委員長  
波多野一夫君  
点 鐘

#### 波多野一夫君 (中津川 RC)

生年月日 1951 年 1 月 27 日 62 歳

ロータリー歴

1992 年 1 月 入会  
2001 年 理事 親睦委員長  
2004 年 役員 幹事  
2010 年 副会場監督  
2011 年 地区 R 財団補助金委員  
国際交流委員長  
2012 年 地区 R 財団補助金小委員会副委員長  
(新地区補助金担当)

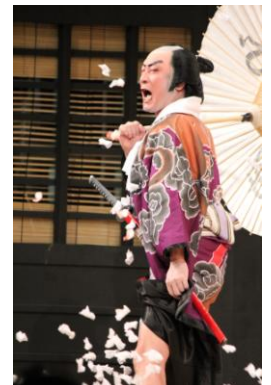
米山功労者

ポールハリスフェロー

趣 味

日本の祭り鑑賞

好きな言葉・・・感謝



(ご本人)

#### 着信書類

- ・ 原満夫ガバナー補佐よりインターシティーミーティング参加のお礼
- ・ ロータリー財団よりクラブ参加資格認定：覚書 (MON)

## 先週の記録

◆ 出席報告 出席免除者 6 名内出席者 1 名

出席者	欠席者	出席率
25 名	8 名	75.75%

◆ スマイル報告

投函者 18 名 金額 21,000 円

- ・本日はお世話になります。 河人宗寿
- ・河人様、よろしくお願ひします。 山田正史
- ・河人先生を迎えて！ 伊藤正雄
- ・加藤真左子さん、教育委員長御就任おめでとうございます。 山口寛

## 河人宗寿君卓話より 「仏の教えについて」

### 帰依三宝（きえさんぼう）

- ・ 帰依とは=すぐれた者に帰投し依伏すること。帰依して、心身共に安らぎを得る。
- ・ 三宝とは「心の宝」=仏宝・法宝・僧宝  
仏宝：仏とは悟れるもの。人格を完成した「師」、先生に帰依すること。  
法宝：法とは仏の教えである。仏の「教え」に従って正しい生活を営むこと。  
僧宝：僧とは法を求むる者の集い。「友」大切なのは「和合」の心。  
善き師との出会いによって善き教え善き友との出会いがもたらされます。

### 五戒（ごかい）

「戒」はいましめ、つつしむの意。「止悪修善」身体のおこないの悪を防止するもの。仏教に帰依したものが守るべき行いの規範をいう。

- ①不殺生戒 ②不偷盜戒 ③不邪淫戒  
④不妄語戒 ⑤不飲酒戒 これを完璧に遵守



することは不可能。少しでも完璧に近づく努力と精進の積み重ねを懺悔（さんげ）という。心からの懺悔礼拝して、精一杯誠のこもった暮らしをしていきましょう。

※懺悔：仏教ではさんげと読む

### 今後の予定

10月25日 お祝い例会 点鐘 12:30

11月1日 定例理事会 11:30 3F 特別会議室

## CLP について (I. M. に於ける発言の一部)

CLP・R 情報委員長 佐藤八郎

目下のところ、ロータリークラブに吹き荒れる CLP 旋風、たった 3 文字のアルファベットの為に右往左往、たった 4 ハイの蒸気船に狼狽した江戸末期の黒船騒動のようです。

私どもの多治見西 RC は、年度初め原ガバナー補佐のご訪問卓話、地区 R 情報委員の解説、会長、幹事、CLP 委員長など折に応じた挨拶や話などの他は、CLP 活動について皆さんに報告できるようなことはしていません。いや、委員会統合のみはしております。そのトバッチリを受けて私は黙って 7 つの委員長をやっております。誰が言われたか知りませんが、「ロータリーを殺すに刃物は要らぬ、例年通りにやればよい」が聞こえたか、聞こえないか。このところ連続して RI は色々やっています。広報は陰徳からの脱皮、伝統的な慎ましさを捨てなりふり構わず PR を前面に・・・ロータリー活動方針の多年連続性の採用。金科玉条と言われた、職業奉仕の 1 歩後退か。テリトリーの件。出席規定。1 業種 1 名の件。など遥か過去のこととなりました。このあたり寂しさ悲しさすら覚えます。「CLP」私は物理的には委員会の統廃合、スリム化。精神的にはロータリアンの意識改革がメインではないかと思ひます。組織の変化がロータリアンの意識改革に波及し、ロータリーの活性化を生み出す。これが CLP 方程式ではないだろうかと思ひます。今回の CLP は前回の DLP のガバナー補佐制度を設けるなどの目に見えるような大きな改革ではなく、恣意的、精神的面の一歩前進が強いようです。尊敬申し上げます、服部パストガバナーの言われます「全てが満足な 9 か条の答えであれば、組織も運営も管理も何も CLP に変える必要はないかも知れません。その検討したことが CLP を導入したと言うことになるのです」との一言は非常に勇気付けられます。15 年間に 40% 激減の 2630 地区のロータリアン。ロータリーを愛し、信じている以上はもう手をこまねいておられません。ガバナー擁立という恵まれた立場に感謝しつつ、更なる精進をしなければと思ひます。